

# 一本一本の積み重ねが地球を守る

## 洞爺湖サミットを記念し六百二十本のミズナラを植樹

洞爺湖サミットの開催を記念し「木を植えて環境を考える植樹会」が五月十四日、宇隆地区の町有地で行われミズナラの苗木六百二十本を面積〇・三ヘクタールに植樹しました。

二トリ北海道応援基金の支援を受けて実施したもので、鶴川漁協厚真支所青年部・女性部、町環境対策町民会議、各団体などから約五十人が参加しました。

開会にあたり、藤原町長が「山を守り育てることは地球温暖化防止につながる。サミットを契機として環境に対する意識が高まっていけば」とあいさつ。

同青年部の西館純之さん（共和）は「木を育てて海をきれいに合言葉に、植樹は十年くらいやっているかな。仕事の動きと違うので大変な作業ですね」と笑顔を見せながら、スコップを巧みにあやつり慣れた手つきで植樹をしていました。



植樹作業を終えてさわやかな笑顔を見せる参加した方々

## おじいちゃん、おばあちゃんから野菜づくりを直伝

上厚真小学校（横山守校長・児童数71人）では野菜づくりを通して食の大切さを知り、植物の成長を観察する「グリーンタイム」が5月21日、地域老人クラブ「寿楽会」の方々の指導のもと校地の畑で行われました。

竹下鉄藏さん、佐藤政志さん、宮崎ミエさんの手ほどきで、ミニトマト、イチゴ、とうもろこし、枝豆などの苗の植え付けや種まきを全児童が体験。肥料をまいていた1年生は「ちょっと臭うけど、これで甘くなるんだね。おいしくなってほしいなあ」と話していました。

宮崎さんの指導でイチゴの苗を植える



連携プレーで田植えをする中央小5年生



## 「きみたちが植えた苗からどれくらいの米ができる？」

中央小学校（刑部守敬校長）の5年生29人が5月26日、同校PTA会長の石橋公昭さん（宇隆）のほ場で田植えを行いました。稲作の学習は、同校5年生が総合的な学習の授業で毎年取り組んでいるもので、石橋さん家族やJA職員の指導で約4畝の田植えに児童たちは裸足になって挑戦。

畑嶋飛鳳くんは「転ばないつもりが、足を取られて尻もちをついちゃった」と跳ね上がった泥を顔につけて笑顔で作業。終わりに石橋さんから、次回の観察までに収量を計算し予想する宿題が子どもたちに出されていました。

# 5月のまちの話題

## 臼のふちをたたいたちゃった!!

5月5日、こぶしの湯あつまではゴールデンウィーク恒例の子どももちつき大会が行われ、「ヨイショ!ヨイショ!」のかけ声が会場内にこだましていました。

もちつきは午後2回行われ、もち米は穴田米穀店(上厚真)からの提供。

小学校高学年が振り下ろした杵は、勢い余って臼のふちをたたき場内は爆笑。つき上がったもちを来場者はアツアツのうちにほおぼっていました。



## 水が枯れることなく出来秋を祈る

厚真ダムを一望できる林の中にたたずむ水神宮で5月9日、土地改良区(山田英雄理事長)が主催する取水式が行われました。

土地改良区、町、議会、農業委員会、各団体などの関係者約30人が参列し、水が枯れることなく出来秋を迎えられることを祈願。季節はずれの寒さの中、参列した方々は、玉ぐしを捧げていました。

毎年秋には同神宮で水のめぐみに感謝する落水式が行われています。



## エゾタンポポに富野小児童たち笑顔



エゾタンポポ(左下)と西洋タンポポ(右下)

五月の上旬から中旬にかけて富野小学校(吉田裕二校長)の花畑では、エゾタンポポが咲き児童たちの目を惹かせていました。このエゾタンポポは、同校事務職員黒川崇さんが、五年前遠足先から綿毛を分けてもらい、丹精込めて栽培し増やしたものです。今年は、幅約一尺、長さ約八尺にわたって可憐な花が咲きました。

「午後には花を閉じるのですが、気温が低かったり、くもりのときも花は開きません」と黒川さん。一年生の森山明日香ちゃんと清野綾花ちゃんは西洋タンポポと見比べて「エゾタンポポは、花の下にあるひだが花にくっついているし、茎も太いね」と二人で話していました。



## 児童と保護者の出し物で 新一年生を歓迎

中央小学校(刑部守敬校長・児童数百二十七人)では一年生を迎える会が五月二日、同校の体育館で行われ上級生児童と保護者が出し物で、新一年生十四人を歓迎していました。

二年生以上の各学年は、歌やクイズ、ゲームなどで一年生を歓迎。また、保護者で構成する合唱サークル「ポラリス」の皆さんが透き通った歌声を披露していました。



## 「たくさん収穫するぞ!!」 あつま遊楽農園開園

市民農園「あつま遊楽農園」の開園式が五月三日、宇隆地区の同農園で行われました。

厚真の新鮮な空気のもと豊かな土壌での野菜づくりを求め、札幌や苫小牧などから継続した参加者が多いことがこの農園の特徴。佐々木弘さん(役場前産業経済課長)から野菜づくりの講習会を受けた後、参加者たちはそれぞれ借り上げた区画に移り農作業を進めていました。



路肩に落ちているごみを拾う軽舞小児童

## 「一向に減らないポイ捨てのごみ」

軽舞小学校（鳥井隆校長）の全校児童14人が5月27日、道道沿いの通学路のごみ拾いを行いました。毎年、町をきれいにしようといわれているもので、児童たちは、ゴミ袋片手に道路脇に捨てられている空き缶やタバコの吸殻などを拾い集め、一時間足らずで軽トラックいっぱいのごみを収集。その後、資源ごみのペットボトルは分別して洗浄しました。

吉井侑くん（6年）は「毎年行っているけど、ごみは一向に減らない。ゴミ箱は車の中にもあるはずなのに」とポイ捨てするドライバーのマナーの悪さにあきれているようでした。

## 宇隆自治会がカラマツ6千本を植樹

宇隆自治会（高橋茂会長）では5月3日、自治会が所有する約3畝の山林にカラマツ6,000本とサクラ20本の苗木の植樹を行いました。

田おこしなどの農繁期にもかかわらず植樹に参加した約30人は、均等に植えられるようロープを山頂から垂らし、急斜面を丁寧に植樹作業。

高橋自治会長は「先人が残してくれた土地に、植樹することは何十年に一度のこと。今年は道内でサミットがあり、再来年は宇隆地区の開基120周年にあたることから、皆さんに理解してもらっての記念植樹だよ」と額に玉の汗を浮かべ晴れやかな表情で話していました。



急斜面での植樹作業は重労働



サミット記念のかざり時計を抱える森田さん

## サミットを記念し森田さんかざり時計

かざり時計や交通安全のお守りづくりを手がけている森田政一さん（宇隆・83歳）が、7月の洞爺湖サミット開催を記念してオリジナルの“洞爺湖サミット記念”のロゴを貼り付けたかざり時計を作製しました。

森田さんは10年ほど前からかざり時計を作り始め、現在まで約800個を作製し、公共施設や福祉施設などに寄贈しています。このサミット開催記念の時計は、洞爺湖畔に住む友人から作製を進められ13個を試作。「目は不自由だけでも、長年の経験で1日10個くらいはつくることができるよ」と笑顔で話していました。

## コアラゲンさんのライブに爆笑の渦

久本雅美さんや柴田理恵さんでおなじみのWAHAHA本舗に所属する体験ノンフィクション芸人、コアラゲンはいごうまんさんの爆笑ライブが5月10日、総合福祉センターで行われ会場に集まった約80人がコアラゲンさんの軽妙な語り口に笑いの世界へ引きこまれていました。

コアラゲンさんと親交がある近藤学志さん（上厚真）により実現した爆笑ライブは今回で4回目。自ら取材し構成した、厚真にちなんだネタや昔の教科書を題材にした話など終始笑いの渦を巻き起こし、また来年も開催の約束に来場者は期待の拍手を送っていました。



笑いが絶えないコアラゲンさんのライブ

## 村井さんが手塩にかけた<sup>さつき</sup>皐月の花咲く

村井弘さん(共和)が手塩にかけて育てた皐月<sup>みやまきりしま</sup>と深山霧島が見事な花をつけ、役場ホールに5月28日から展示され役場を訪れる方々の目を楽しませています。

体をこわした知り合いから盆栽や園芸を趣味としその熱心さと愛情をしたわれ、村井さんのもとへ樹齢40~50年経った皐月を譲り受けたのは5年ほど前。村井さんは「皐月は非常に手がかかり人にはあまり勧めることができないけれど、花を見ればその苦労も忘れますね」と赤と白の花が咲く皐月を見やり、笑顔で話していました。



紫色の花をつけた深山霧島

村井さんが丹精こめて育てた皐月



茎の太さが2センチほどあるタンポポ

## 「不思議なタンポポ見つけた」

5月中旬、京町保育園の園児と先生が総合福祉センター横の芝生を散歩しているときに、茎が直径2センチくらいの扁平状で花も3つ分の大きさのタンポポを見つけ、園児たちは不思議なタンポポにクギ付けになっていました。また、本郷の宮崎良一さんのお宅周辺でもこのようなタンポポが多数見つかっています。福井市自然史博物館のホームページによると、植物にまれにある「帯化<sup>たいか</sup>」という現象で、茎や花の生長点が帯状に広がったり、いくつかの茎が一平面に癒着して起こるもので、タンポポが含まれるキク科の花に多い現象ということです。



笹の葉で見えにくいですがカタクリが点在

## 百年記念公園でカタクリ増殖中

5月上旬から中旬にかけて、百年記念公園(豊沢)の林に淡い紫の花をつけたカタクリの花が咲き、散策者の目をなごませていました。

カタクリは、15センチほどに成長するユリ科の多年草で、昔はジャガイモに取って代わるまで片栗粉を作る植物として利用されてきましたが、最近では、全国的にみても限られた場所にしか自生しない珍しい植物になっています。ルーラル地区に住む市丸静子さん、谷津里子さんは「この公園は私たちが自然を感じることができる散策コース。かわいい花が咲くカタクリは年々増えていますね」と話していました。

## ガーデニング講習会の参加者を募集します

町コミュニティ運動推進協議会

厚真町コミュニティ運動推進協議会では、例年実施しているガーデニング講習会を開催します。

講習会では、講師によるガーデニングのお話と、実際に皆さんに花を選んでもらいプランターに植え付けをしてもらいます。

皆さんの参加をお待ちしています。

▶ 昨年行われた講習会



- 開催日 7月6日(日)雨天でも行います
- 時間 午前9時30分~午前11時30分
- 場所 総合福祉センター前  
※雨天の場合は大集会室
- 参加人数 40人(定員になり次第締め切り)
- 参加料 1,000円  
(当日受け付けの時に集めます)
- 持ち物 ボールペン、手袋、シャベル
- 申込方法 6月23日(月)午前9時から電話で受け付けをします。  
なお、一人で複数人の申し込みはできません。
- 申込先 町コミュニティ運動推進協議会事務局(役場町民課町民生活グループ ☎27-2321内線232)